

## ご理解とご協力をお願いします 社会実験「きたかみウォーカーブル チャレンジ」の実施に伴う交通規制

市は、令和3年度に策定した地区再生計画「未来ビジョン」に基づき中心市街地の再整備に取り組んでいます。その一環として、市道北上駅鍛冶町線のウォーカーブル化（歩いてみたいと思ふ道路整備）に向けた社会実験を実施します。

これに伴い、一部区間で車両の通行規制（一方通行規制）を行いますので、「注意」ください。

社会実験の詳細は次号の広報誌かみなどでお知らせします。



- 実施期間：9月22日(月)7時～28日(日)17時
- 実施区間：左図のとおり
- ※この取り組みは、令和6年度に設立した官民のメンバードで構成する「北上市ストリートデザイン推進会議」において、同路線の将来構想を検討してきたもので、同会議のアイデアの有効性を確認するために実施するものです。
- 問い合わせ：都市再生推進課 ☎72-82805



## 第35回北上市障がい者福祉展 くらし×福祉 みらいつなぐマルシェ

くらしと福祉の新しいつながりが発見できる、2日間だけの福祉施設によるイベントを今年も開催します。福祉施設が作った雑貨・スイーツなど、パフエティー豊かな商品がそろったマルシェです。また、福祉施設の活動紹介・作品展示、親子・子ども向けワークショップ、福祉体験、成年後見制度の市民講座・無料相談会も開催します。

■とき：9月6日(土)・7日(日)10時～16時(7日は15時まで)

■ところ：江釣子ショッピングセンター・パル



■問い合わせ：障がい福祉課 ☎72-8214



## 多文化共生について一緒に考えませんか 多文化共生フォーラム2025

北上市多文化共生プランの策定に当たり、多文化共生の取り組みの現状や課題、他の地域の事例などを学びながら、市や地域でのこれからの多文化共生の形を一緒に考えます。

- ところ：生涯学習センター1号1号30分
- とき：10月4日(土)13時30分～15時30分
- 講師：岩手大学国際教育センターの松岡洋子教授
- 対象：市内在住または通勤、通学し



## おいしい旬の食材がたっぷり！ きたかみ産直スタンプラリー

税込み300円以上のお買い物をして5カ所以上の産直（あぐり夢くちない）と「街なか産直」は「いづれか」のスタンプを集めると、きたかみ牛など豪華賞品が当たる抽選に応募できます。

■とき：8月18日(月)～10月17日(金)

### ■令和7年度産直スタンプラリー参加産直

	参加産直	住所(電話番号)	営業時間
1	あぐり夢くちない	口内町松坂214-4 (☎69-2200)	毎日9時～18時
	街なか産直 (あぐり夢くちない)	本通り二丁目1-19 (あぐり夢くちない ☎69-2200)	毎週火・金曜日 9時30分～13時40分
2	JA産直あぜみち	流通センター601-8 (☎71-1338)	毎日9時～17時 (毎月1日は定休日)
3	パル母ちゃん市	江釣子ショッピングセンター・パル内	毎週日曜日 9時30分～14時30分
4	くろいわ産地直売所	黒岩16-26-1 (☎64-7528)	毎日10時～17時 (第1水曜日は定休日)
5	ありがだあんちゃ	和賀町岩崎29-6 (☎73-7010)	木曜日13時30分～17時 金曜日9時30分～17時 土曜日9時30分～16時
6	さらきの里ふれあいセンター	更木16-99 (☎71-3300)	毎日9時～17時

- ところ：市内6店舗
- ※スタンプ台紙と産直マップは各産直で入手できます。
- 問い合わせ：北上市産地直売所連絡協議会(事務局)農林企画課 ☎72-82305



## お元氣ですか市長です。 ㊦

北上市長 八重樫浩文



「縁」を紡ぐ青空法話  
 7月19日、和賀地区自治協議会の主催で、和賀町岩沢の多聞院伊澤家住宅に隣接する久那斗神社で、22回目の歴史・文化講座「青空法話」が開催されました。平成14年に中尊寺から株分けされた中尊寺ハスの美しい花々が咲き誇るこの時期に、毎年行われています。地域の皆さんが手作りで会場設営・運営をされており、数日前にはTDKエレクトロニクスファクトリーズ様などによるボランティア協力もいただき、周辺の草刈りなどの美化活動も行われました。

そうした温かい心こもった会場で、中尊寺の奥山元照貫首から「一生の計は本日であり」のお題目で法話がありました。一日一日、今のこの時を、人のためにできることを一生懸命尽くすことの大切さを説いていただきました。

折しも、青空法話を長く務められた山田俊和前貫首が3月に中尊寺ハスの株分けにご尽力くださった菅原光中前大長壽院住職が7月に

お亡くなりになりました。また、今回開催時の市長で昨年まで元気に参加されていた伊藤彬さんも1月に亡くなられました。先人たちに育てられ、見守られながら、地域主導で連絡とパトンをつないできた「青空法話」。今回の来場者には特別に、奥山貫首書の「縁」のうらがいが配られました。それを手に、人はさまよまなご縁で生かされていることを思いました。

一昨年の青空法話では、奥山貫首から「くさりのくさりのくさりとてさとりかな」という歌が来場者に紹介され、私は、その色紙を市長室に置いて、毎朝拝見して、気を引き締めています。草取りに象徴される一見やっかいたがやならなければならないこと、苦だと思わずに一生懸命取り組むことが心の安寧につながっていくと信じながら。

